

2024年3月25日



各位

株式会社 F R O N T E O  
代表取締役社長 守本正宏  
(コード番号: 2158 東証グロース)  
問合せ先 経理財務統括部長 國枝宏美  
電話番号 03-5463-6344

### 連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

2024年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2023年4月1日~2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,200	200	150	50	1.27
今回修正予想 (B)	7,400	△280	△220	△410	△10.42
増減額(B-A)	△800	△480	△370	△460	—
増減率 (%)	△9.8%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	7,215	△1,361	△1,292	△1,701	△43.27

#### (修正の理由)

当社の成長事業と位置づけている AI ソリューション事業 (ライフサイエンス AI 分野、ビジネスインテリジェンス分野、経済安全保障分野) においては、第3四半期から開始される予定であった大型案件の開始タイミングが当第4四半期に移行した影響があったものの、好調に推移しており、期初業績予想 (売上高 2,500 百万円) を上回り、売上高 2,800 百万円 (対前期比 51.4% 成長) を見込んでおります。

なお、当該大型案件における収益認識については、監査法人との協議の結果、当第4四半

期に契約一時金の一部を売上高に計上することとなり、当期に与える影響は限定的ではありますが、来期以降もプロジェクト進捗に応じて収益を認識していく予定であるため、当社の中長期的な安定成長に寄与いたします。

一方、リーガルテック AI 事業においては、前期から取り組んでいる顧客基盤の再構築および営業の仕組化等が奏功し、回復基調に転換しているものの、期初計画から 6 か月程度の遅れが生じております。足元、期初業績予想（売上高 5,700 百万円）を下回って推移しており、当該事業の通期売上高が 4,500～4,600 百万円となる見込みです。リーガルテック AI 事業の不調を AI ソリューション事業の伸長で一部吸収できているものの、第 3 四半期連結累計期間の売上実績及び当第 4 四半期の売上見通しを総合的に勘案した結果、通期連結売上高の見込みを 7,400 百万円に修正することといたしました。

営業利益については、第 2 四半期連結会計期間より全社的な合理化を推進し、サービス別に「選択と集中」を行うことで収益相関性の高い組織に移行するなど、売上原価および販売管理費の最適化を行ったこと等により 160 百万円程度の費用削減効果がみられたものの、売上高の減少に伴う営業利益の減少額 640 百万円がこれを上回り、280 百万円の営業損失が見込まれ、これに伴い、経常利益に関しても修正しております。また、第 3 四半期までに実施した自社利用ソフトウェアの一部利用停止に伴う減損処理や、全社的な合理化における構造改革費用の計上等により、親会社株主に帰属する当期純損失は 410 百万円となる見込みです。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、予想数値と異なる場合があります。

以上